

本格ミステリの現在



[本格ミステリの現在_下载链接1_](#)

著者:笠井潔

出版者:国書刊行会

出版时间:1997-9

装帧:单行本

isbn:9784336040008

島田莊司、綾辻行人、宮部みゆき、京極夏彦など現代日本ミステリを代表する作家16

人の作品世界を解読。「新本格」登場から10年、本格ルネッサンスを迎えた日本ミステリの現在を検証する、ミステリ批評の新しい冒険。

作者介绍:

東京都生まれ。1979年、名探偵・矢吹駆の初登場作『バイバイ、エンジェル』で小説家デビュー。

同シリーズは『サマー・アポカリプス』、『薔薇の女』、『哲学者の密室』と続き、2003年、『オイディプス症候群』で本格ミステリ大賞を。

『ヴァンパイア戦争』ほか伝奇小説やSFも。評論家・思想家としての著書多数。

『探偵小説論』などでミステリー界も刺激する。

目録: 竹本健治論一尾を喰う蛇は“絶対”を夢見る(千街晶之)
笠井潔論一大量死と密室(法月綸太郎)
島田荘司論一挑発する皮膚(法月綸太郎)
東野圭吾論一愛があるから鞭打つのか(北村薫)
綾辻行人論一館幻想(涛岡寿子)
折原一論一決算後の風景(田中博)
法月綸太郎論一「二」の悲劇(巽昌章)
有栖川有栖論一楽園が罅割れるとき(千街晶之)
宮部みゆき論一語りと灯(涛岡寿子)
我孫子武丸論一メタ・ヒューマニズム序説(夏来健次)
北村薫論一可憐なる巫女たちの物語(加納朋子)
山口雅也論一パンキー・ファントムに柩はいらない(有栖川有栖)
麻耶雄嵩論一形式の大破局(佳多山大地)
井上夢人論一意識・身体・小説・現実(田中博)
二階堂黎人論一怪人のいる風景(鷹城宏)
京極夏彦論一フロイトの「古井戸」(武田信明)
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[本格ミステリの現在_ 下载链接1](#)

标签

推理

推理评论

評論

笠井洁

日系推理

推协赏

工具書

评论

不愧是得過日本推理作家協會評論部獎的作品.選取的除了井上夢人之外，都是中國耳熟能詳的新本格之後的日本著名作家.笠井潔的前言「偵探小說的地層學」寫的一級棒，以時間和環境的原因分析了日本的三次本格爆發，以及融入了世界大背景的分析非常見功力.這本書的行人和京極會入選「新本格三十年」同人誌，另外諸如老二、折原一、麻神和我孫子會選入「幻之評論集.日本卷」

後續補發長評。

[本格ミステリの現在_下载链接1](#)

书评

[本格ミステリの現在_下载链接1](#)